

日刊 九十月 磐城時報 編輯兼發行所 磐城郡平町新田十四 印刷所 磐城郡平町新田十四 電話 一四三三 廣告料 一行十四字 一月金五拾圓 半年金九拾圓 一年金一拾五圓 休刊 日刊(日曜、祭日) 休刊

常磐炭礦の送炭

俄かに一割余の激増

犬養積極内閣出現で 異状の好況をもたらす

磐城炭礦界は犬養積極内閣の出現も送り盡した有様で出炭に追いついて逐日好轉氣配を示しては來てゐる、是がため十七日か政變來五六日間の送炭を見るに平均七十噸の値上げとなつた一日平均四百八十車内外の送炭此異状な好況に炭山はホクホク量が増して、昨今では二割三四分の激増で、右は甲信増をみせてゐる、即ち日當り一上毛方面の製糸地機業地が今同千三百噸價格にして一萬圓近いの政變で在來休業してゐた者迄増加振りで送炭主要驛の繰驛の反對に操業擴張する有様で需如き前年同期に珍らしくも突破要期に際し石炭の先高を豫想する勢ひであつて磐城入山の注文殺到の結果で一部からは一炭礦を初め各山元は何れも常備的の反動現象とみられてゐる

戦死者西牧伍長の 壯嚴盛大な町葬

けふ湯本舊小學校で執行

全町民一千余名参列

湯本町字上町出身滿洲出征軍人の外入山炭礦従業員等の外全町砲兵伍長西牧重政君は過般名譽一戸から一名宛一千餘名参列しの戦死を遂げた事既報の如く、諏訪神社土重隆、温泉神社佐遺骨は十八日夜湯本町實家に到波古直元、惣善寺森文雄、勝行着したので湯本町では十九日午後院楠正隆四神官僧侶によつて祭後一時から同町舊小學校庭で神式が行はれこの間遺族會葬者焼佛兩式により盛大壯嚴な町葬を香をなし式を終えた。

草野村で 在滿兵慰問

除名は午前十一時西牧君の自宅から小學校に至る沿道に整列して名譽の英靈を式場まで見送り石城郡草野村出來の在滿軍人は式場には小泉町長以下名譽職員十六名であるが同村役場では慰問中である。

竣工式舉行

傾城トンネル

煙管トンネルとして騒がれた常磐線湯本傾城山隧道も全長六百米を綴寄二百米から六十米を切離し完全に二分して一時的危険を除き去したので既報の通り十六日現場に盛大な竣工式を舉行したが世界に三ヶ所しかないといふ傾城の龜裂に對して兎角現在迄に一片代するには大正八年以來工事設計變更十數回總經費百十三萬八千圓使用従業員延數三萬八千人で同線で珍しい難工事であつた。

ロープ切斷

二名死傷

勿來町大日本炭礦坑内に於十七日午後七時同礦役員大平▲雄(三三)同難夫金成三吉(四五)の兩名が作業入坑せんとした刹那突然炭車のロープが切斷跳飛ばされその下敷となり大平は慘死金成は頭部その他全身數ヶ所に瀕死の重傷を負ひ同病院内で加療中であるが生命危篤である。急報により植田署から太田部長等出張業務上傷害過失致死事件として關係者その他につき原因八十八名の、その外の校から昨生活活に陥るものとして生活に資金として同郡小川村草野晴次

好問の辻強盜に 懲役六年言渡し

捕賊演習

去る九月二十二日午後四時頃内四倉町の郷村大字御嶽境字草刈平の山道に於て同村熊坂ヲ(五五)の通行を襲ひ咽喉を締めて地に倒し四倉警察署では十七日午前三時行を襲ひ咽喉を締めて地に倒し四倉警察署では十七日午前三時て七十七錢入の褻口を強奪したより管内巡査の非常召集をなし田村郡瀬川村生れ無職前科二犯捕賊演習を行なつたが成績良好伊郎金八(二八)に係る強盜事件で四時半終了した。

草野消防檢閲

市川檢事は懲役六年を求刑し郡草野村消防組の秋季檢閲は二十日午前八時より同村小學校々刑通り懲役六年を言渡した。庭に於て行なふ。

慰問金寄附者各位に謹告

西牧伍長の町葬に 甲慰料拾圓贈呈

本社後援によつて募集中の滿洲軍人慰問金中發起人協議の結果小名町出身の戦死者佐川泰男君の遺族に二十日小名濱町葬當日甲慰料として金五拾圓を贈る事に決定した旨彙に謹告の通りであるが、十九日湯本町に於て町葬を執行された同町出身の戦死者西牧重政君の遺族に對し同様の意味で金拾圓を贈呈した、一般寄附者各位の御諒承を乞ふ。

滿洲出征軍人慰問金 募集發起人一 同 磐城時報社

平職業紹介所から見た 生活戦線の異状

明年小學卒業生の 希望者二百名

明春四月學窓を出て生活線の第年に倍して約二百名余の申込み一步を踏み可憐な小學兒童は平あるものと見られてゐるが殊に職業紹介所管内の連絡小學校だ明春は内閣が更迭しても一家のけで既に申込のあつたのが二校お蔭所は物價騰貴によつて一層石城産馬組合では數年度に事業本金の一部として金五圓を寄附した。

一臂の力を添へんとする就職希望兒童は更に増加するのではないかと紹介所では觀測してゐる右に就て紹介所長倉書記は語る。昨年までは女子の就職希望は六七十名でその大半は交換手事務員その他は看護婦産婆見習といつたものであつたが今年には不景氣の影から子守、女中等を希望する者が非常に増加して來たこれ等の中には前借を第一希望條件とする者が可成りあるがこれを見ても如何に生活線に異状あるかよくうかがはれる云々

客車危うく衝突

機関庫入替線に入る

十八日午後十一時五十六分平驛邸氏より約四千圓程年利八分を着客車第百三十七號列車が平借入れをなし其の後の利息のみを驛構内に入つた際ポイントの間支拂つて來たが農村の深刻な不違ひから誤つて警線線に入り更況から各町村の割當負擔金は儲に機關庫入替線に入つたのを機足に納まらなため自然利息も關手が氣つき停車したので幸ひ衝突を免れた。

常磐各炭礦 礦長會議

常磐各炭礦長會議は十九日午後六時から湯本町松栢館に開き發送炭の協定その他諸般の事項につきそれと協議打合せをなし終つて忘年會を催す等である、二百七十圓の

通帳拾得

平町貳丁目二十一番地大森ユウは十九日朝同町で好問村大字下好問字大館青雲院名義の二百五十圓記入郵便貯金通帳を拾得した。

産馬組合で 低利資金借入

町字仲町岡谷治郎氏は此の程母堂の遺言により四倉消防組基

岡谷氏寄附

町字仲町岡谷治郎氏は此の程母堂の遺言により四倉消防組基

